

2023年3月期

第1四半期決算説明

2022年8月4日

芝浦メカトロニクス株式会社

業績サマリー

■ 売上高・営業利益

- 対前年 増収増益
- 売上高は計画どおりに推移し、138億円
SPE 前年比46%増収 (58億円 ⇒ 85億円)
- 営業利益はSPE分野の売上増加などにより、21.2億円 (ROS15.3%)

■ 受注高

- SPE分野での顧客の旺盛な投資から、受注は好調に推移し、289億円
SPE 前年比171%増加 (83億円 ⇒ 225億円)

業績結果 (対前年)

【連結】

単位：億円

	2021				2022	対前年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	増減率
売上高	101	118	118	156	138	+37%
営業利益	6.6	11.9	11.3	20.8	21.2	+223%
R O S	6.5%	10.1%	9.6%	13.3%	15.3%	+8.9pt
経常利益	6.1	11.4	10.8	20.5	19.1	+214%
特別損失	6.1	-	-	-	-	-
当期純利益	▲1.9	9.4	7.7	14.6	16.8	-
受注高	149	145	242	173	289	+95%

業績結果まとめ (対前年) ①

* SPE : 半導体前・後工程装置
FPD : FPD前・後工程装置

- 売上高 前年比37%増収 (101億円 ⇒ 138億円)
 - SPE分野、FPD分野とも増加
- 営業利益 前年比223%増益 (6.6億円 ⇒ 21.2億円)
 - SPE分野の売上増加と利益率の改善により、営業利益は増益
- 当期純利益 当期16.8億円 (▲1.9億円 ⇒ 16.8億円)
 - 前年1Qは横浜事業所再開発に伴う特別損失で赤字。今期は特別損失の計上なし。営業利益の改善が寄与し当期純利益は黒字に。
- 受注高 前年比95%増加 (149億円 ⇒ 289億円)
 - SPE分野が好調に推移、FPD分野は前年同等

業績結果まとめ（対前年）②

■ ファインメカトロニクス部門

* ファインメカトロニクス部門：半導体/FPD前工程装置

➤ 売上高 前年比44%増（59億円 ⇒ 85億円）

半導体前工程では、ロジック/ファウンドリ向けやパワーデバイス向け、ウェーハ向けが堅調で増加。

FPD前工程では、前年度受注低調の影響などで横ばい。

➤ セグメント利益 13.5億円（前年0.6億円）

半導体前工程の売上増加などにより大幅増益。

➤ 受注高 前年比156%増（85億円 ⇒ 218億円）

半導体前工程では、ウェーハ向けを中心に好調に推移。

FPD前工程では、大型パネル向け、中小型パネル向けとも低水準で推移。

ヘルスケア分野のインクジェット錠剤印刷装置で受注獲得。

業績結果まとめ（対前年）③

■ メカトロニクスシステム部門

*メカトロニクスシステム部門：半導体/FPD後工程装置、真空応用装置

➤ 売上高 前年比28%増（33億円 ⇒ 43億円）

半導体後工程では、先端パッケージ向けやFO-PLP向けが堅調に推移。

FPD後工程では、大型パネル向けが堅調で増加。

➤ セグメント利益 前年比20%増（6.3億円 ⇒ 7.6億円）

売上増加などにより増益。

➤ 受注高 前年比12%増（54億円 ⇒ 61億円）

半導体後工程では、先端パッケージ向けを中心に好調に推移。

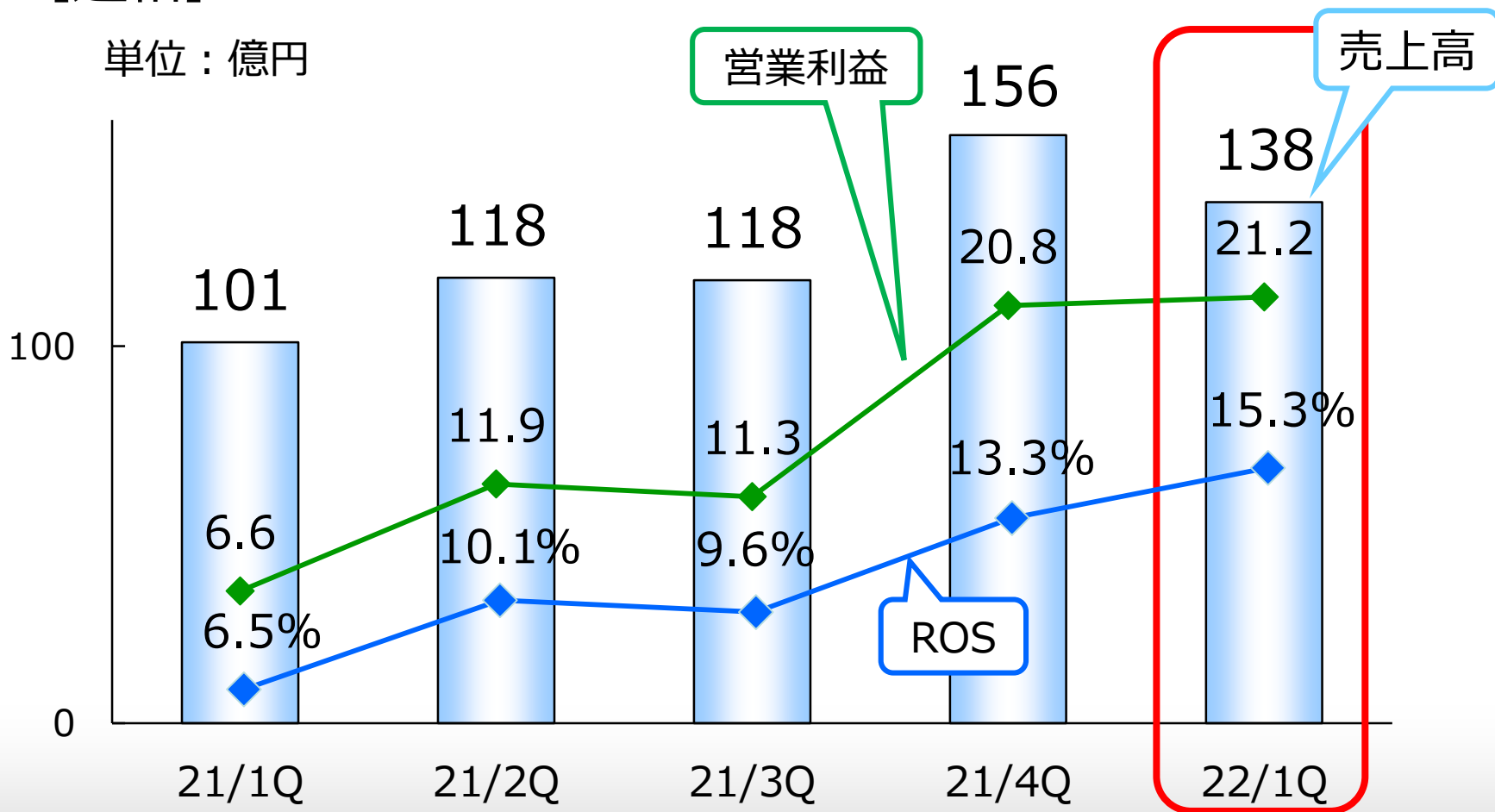
FPD後工程では、モニタ用パネル向け・車載用パネル向けを中心に堅調に推移。

売上高・利益・ROS

SPE分野が増加しROS15.3%

【連結】

単位：億円



セグメント別売上高

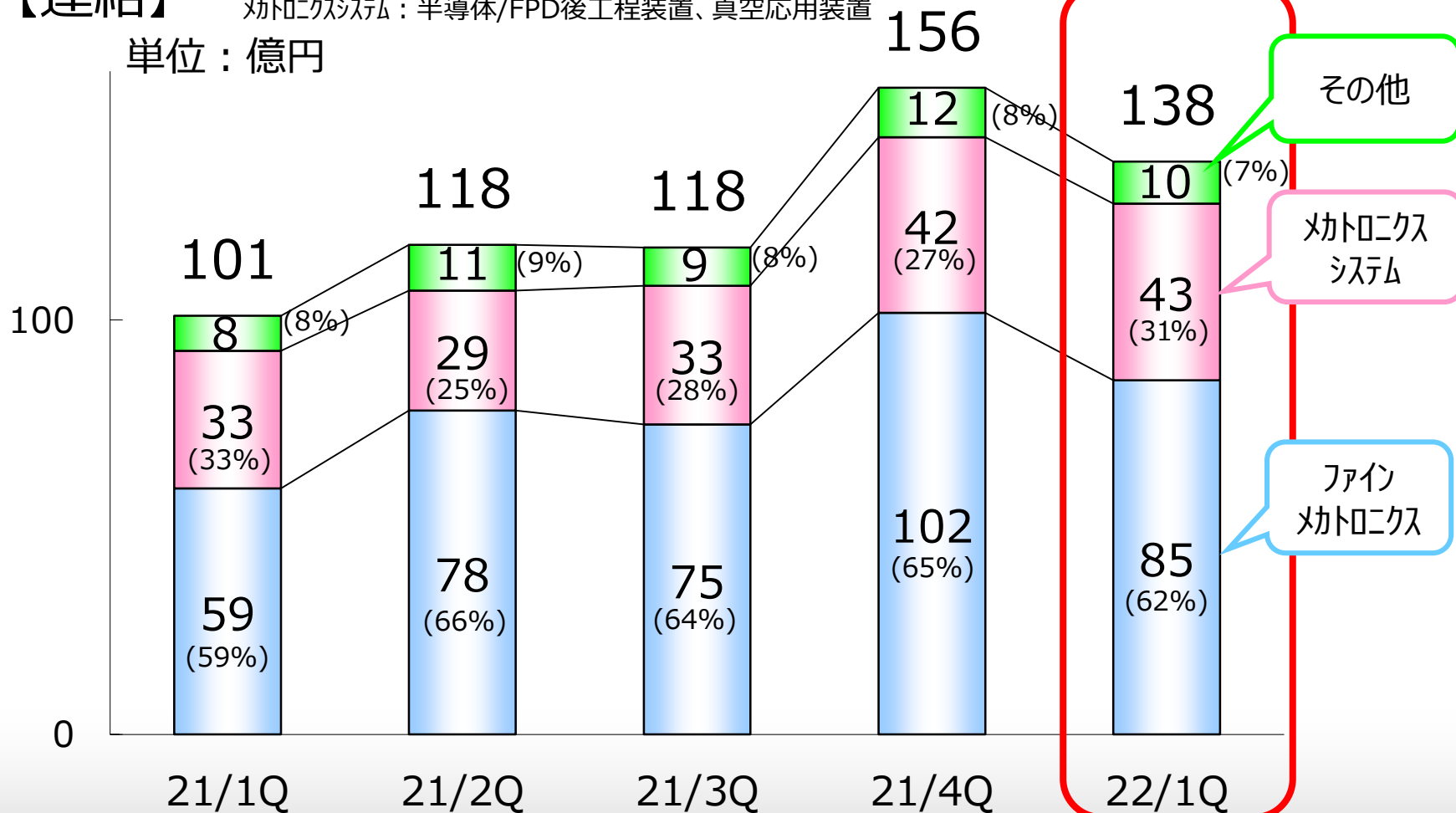
ファインメカトロニクスが60%台で推移

【連結】

* ファインメカトロニクス：半導体/FPD前工程装置

メカトロニクスシステム：半導体/FPD後工程装置、真空応用装置

単位：億円



分野別売上高

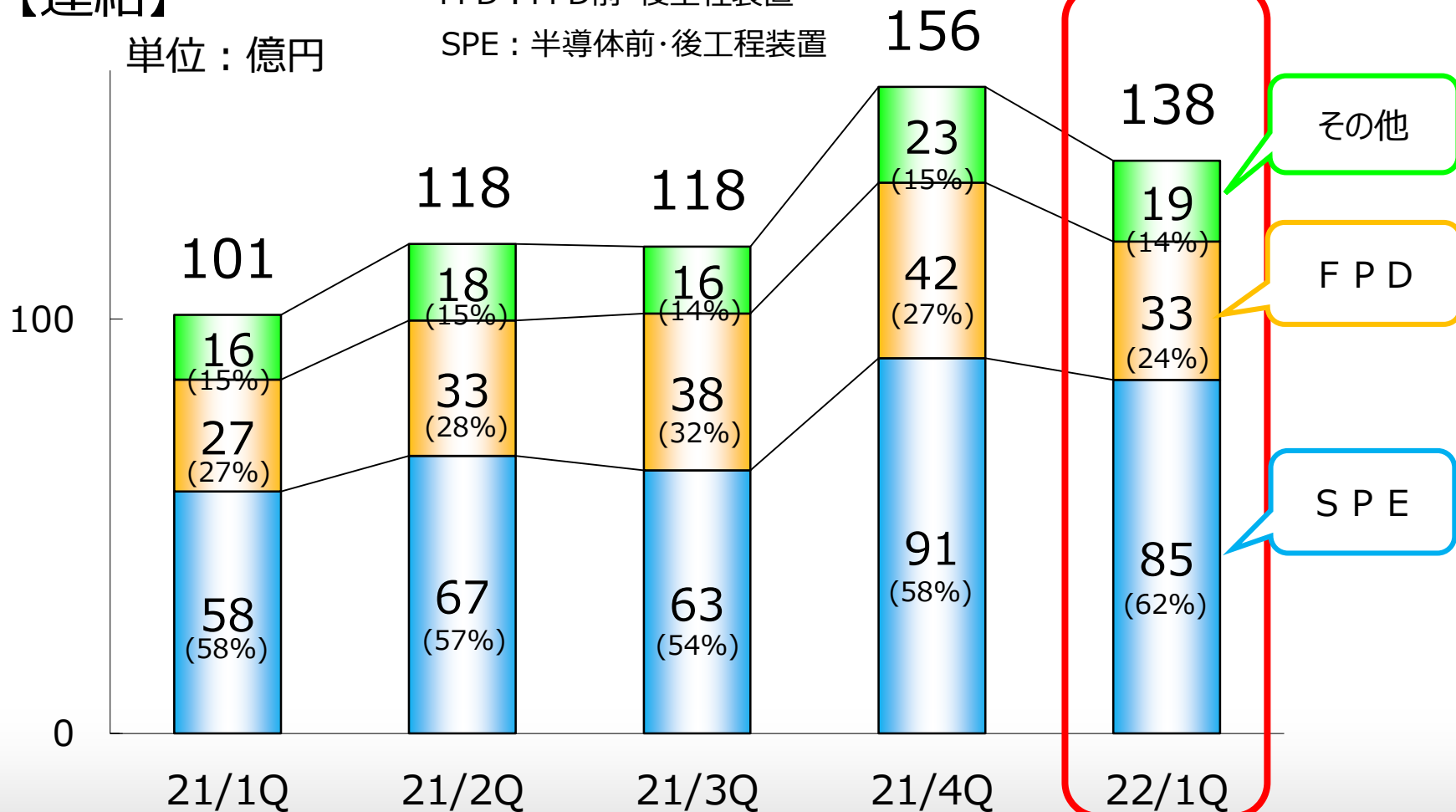
SPE分野が62%

【連結】

単位：億円

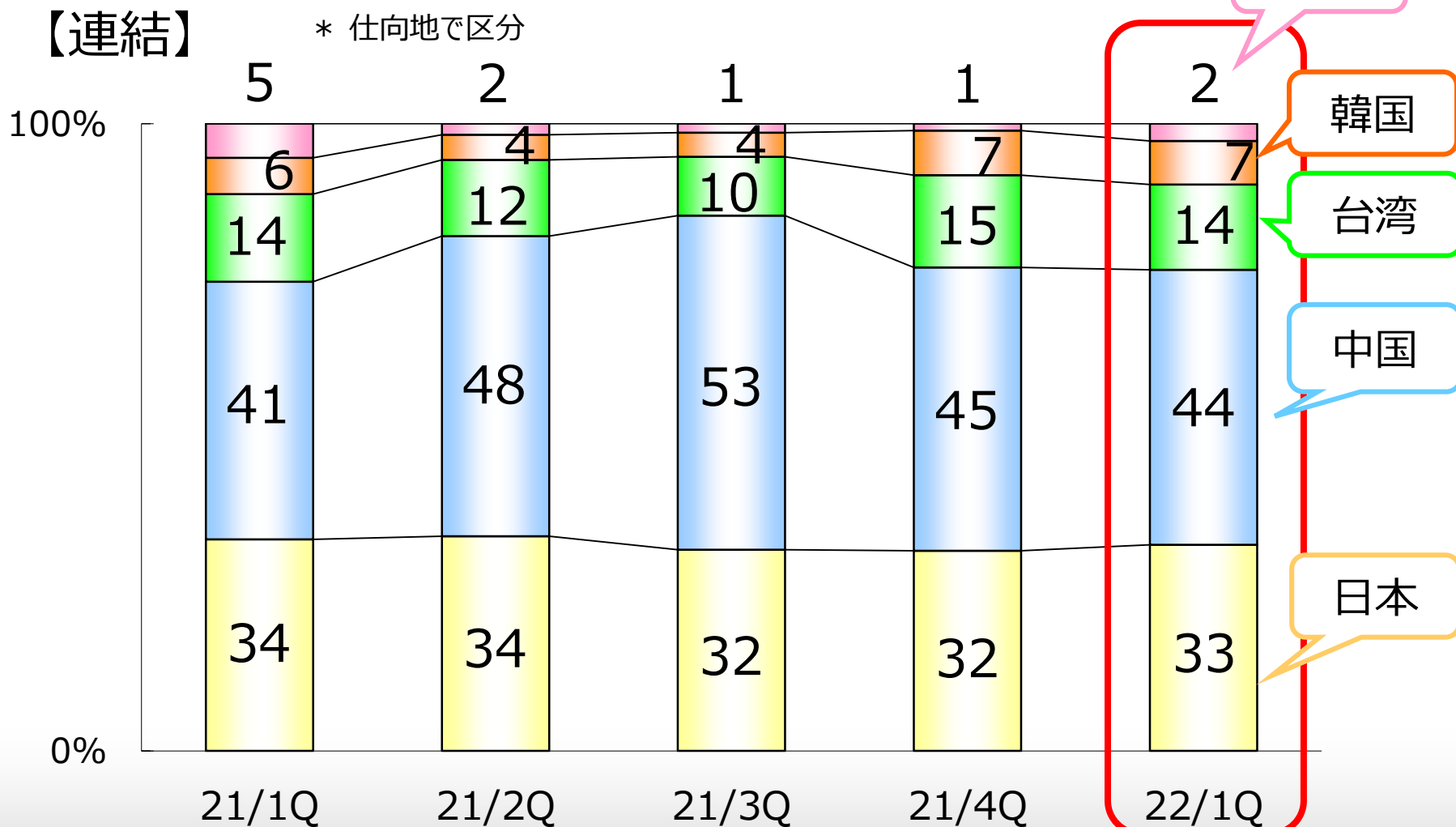
* FPD：FPD前・後工程装置

SPE：半導体前・後工程装置



地域別売上高比率

海外向け67% (中国44%)



セグメント別受注高

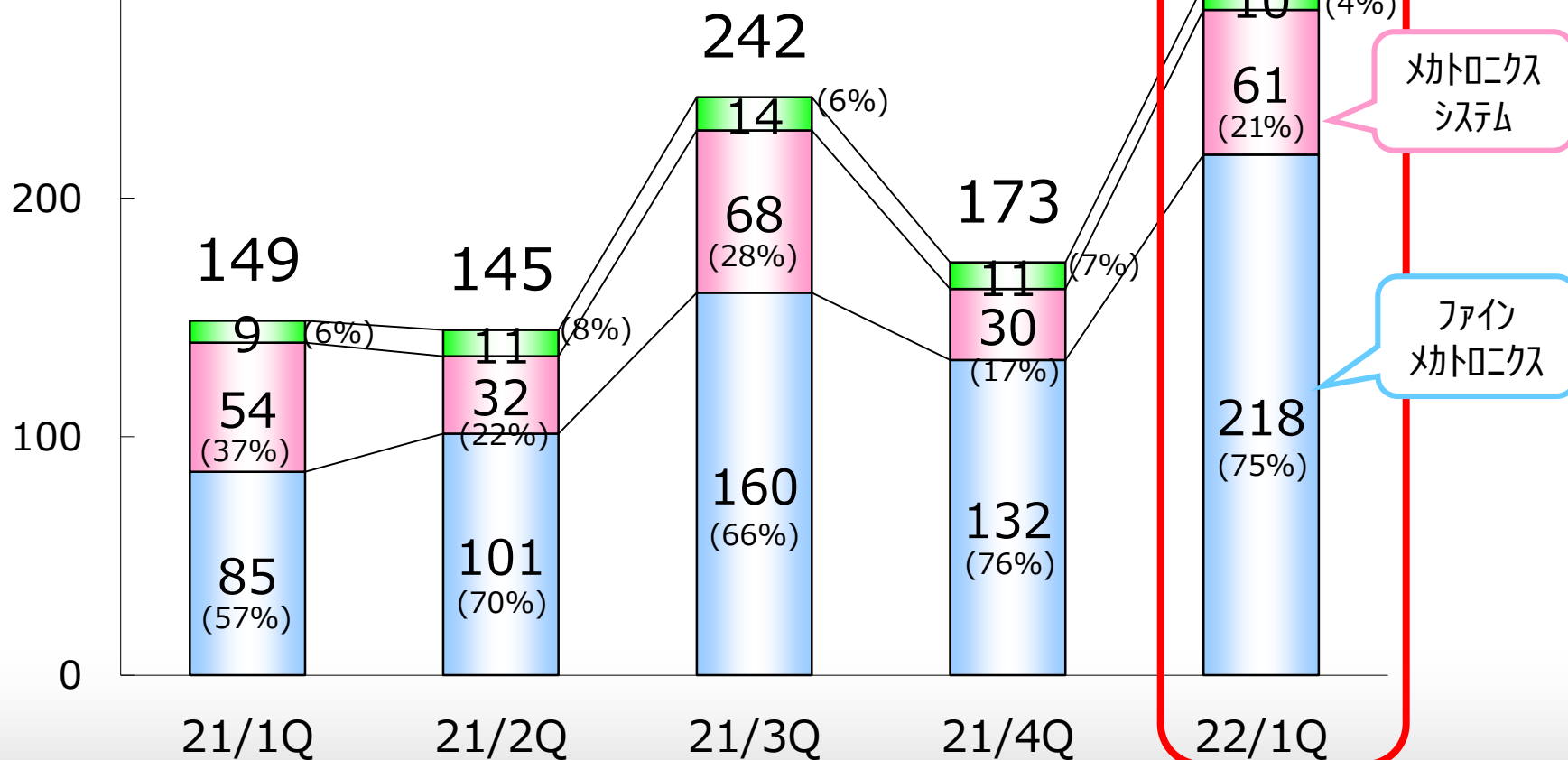
ファインメカトロニクス、メカトロニクスシステム
ともに受注好調

【連結】

単位：億円

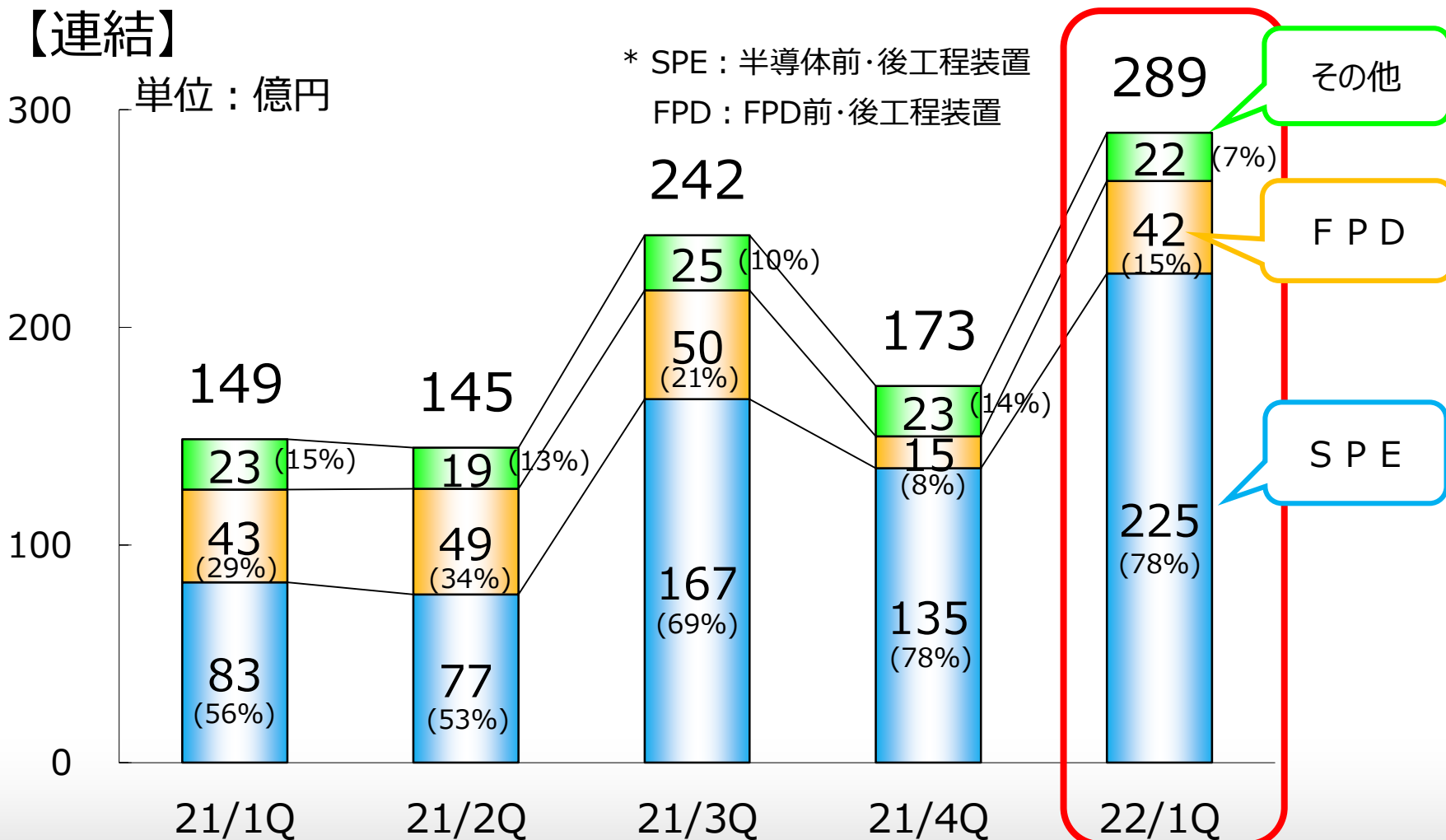
* ファインメカトロニクス：半導体/FPD前工程装置

メカトロニクスシステム：半導体/FPD後工程装置、真空応用装置



分野別受注高

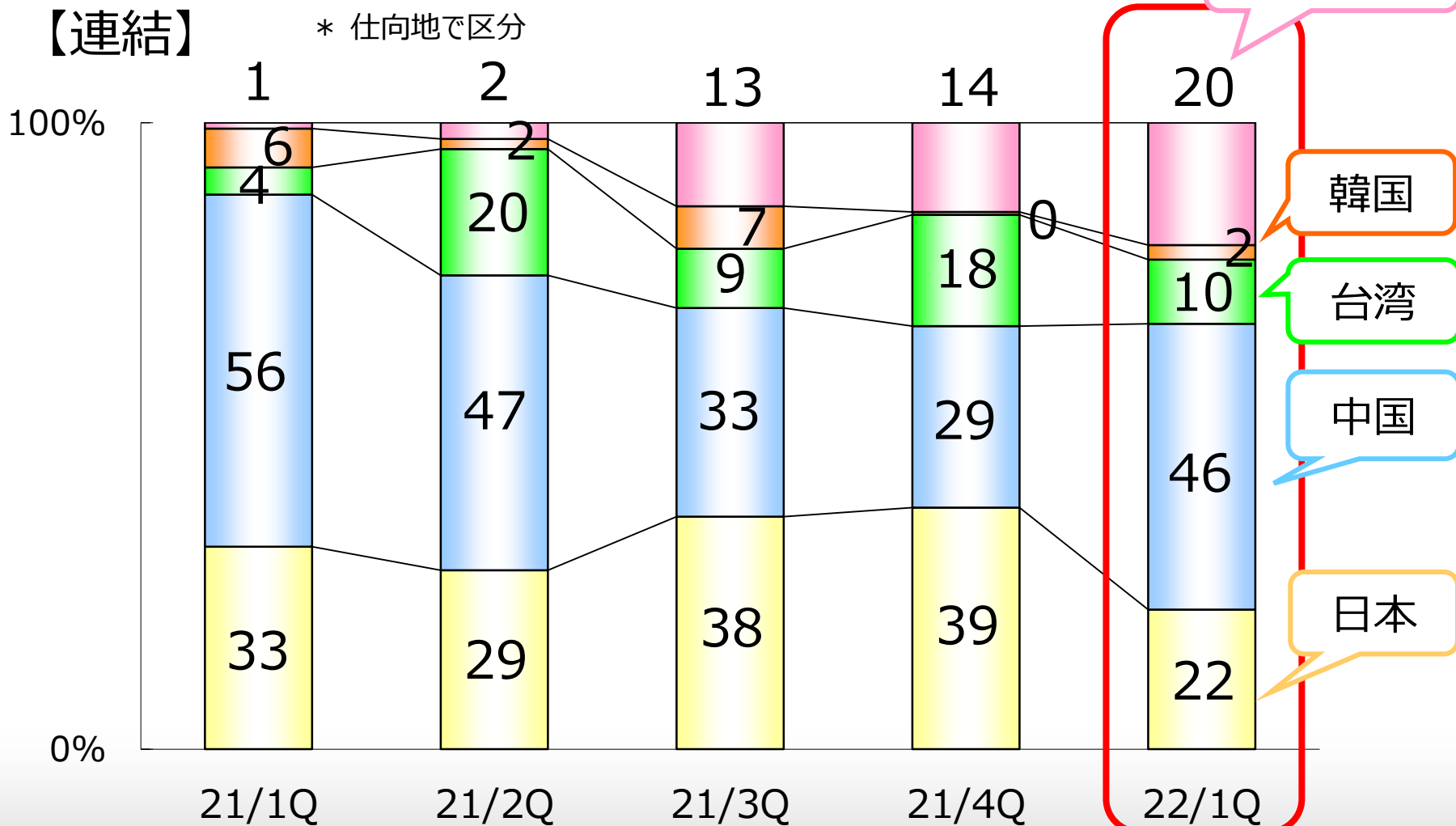
SPE分野が大幅に増加し78%



地域別受注高比率

海外向け78% (中国46%)

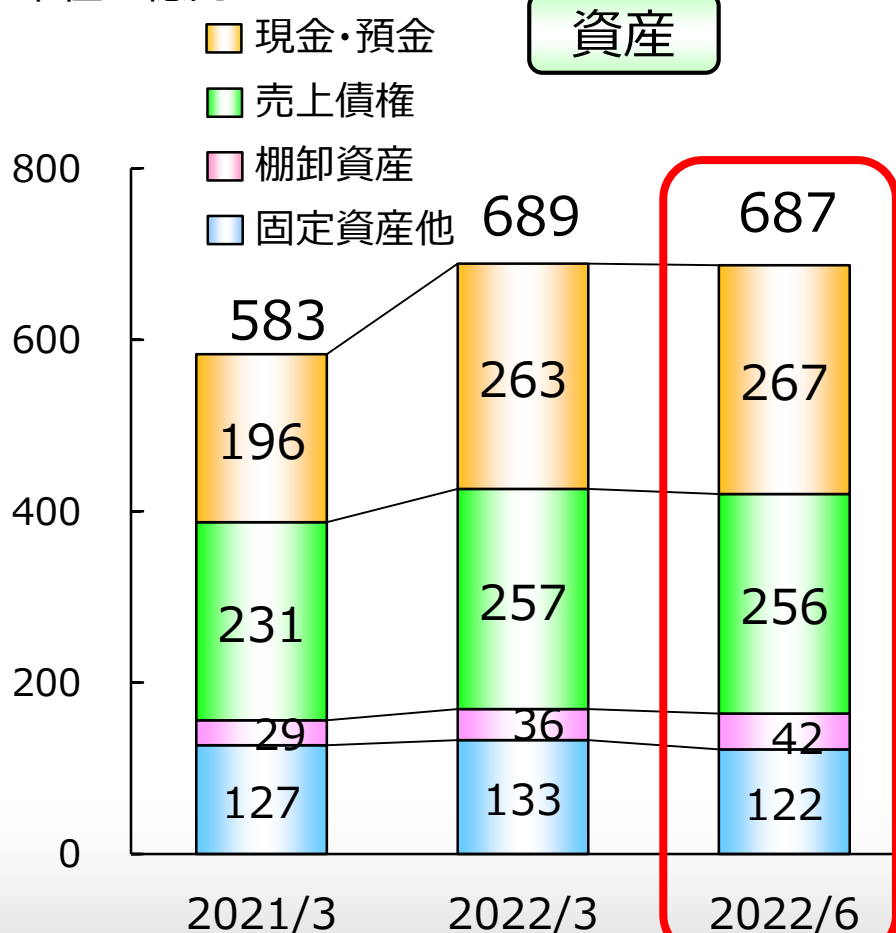
欧米・東南アジア
・他



貸借対照表

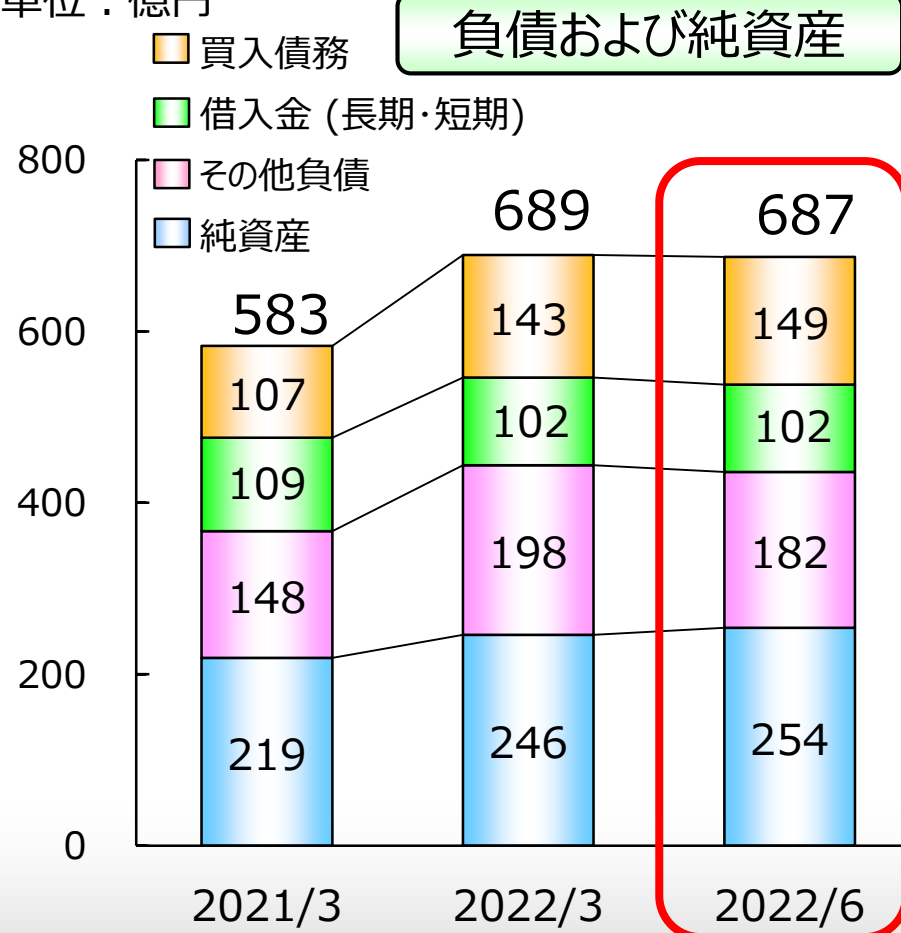
【連結】

単位：億円



自己資本比率 36% ('22/3) → 37% ('22/6)
D/Eレシオ 41% ('22/3) → 40% ('22/6)

単位：億円



業績予想

前回予想から通期業績予想変更なし、
上期見通しは上振れ見込み

*1: 2022年5月公表
22/上、22/下見通しはご参考

【連結】

単位：億円

			2021 年度	2022		2022 年度 予想	前回予想 *1		2022 年度
	21/上	21/下		22/上 見通し	22/下 見通し		22/上 見通し	22/下 見通し	
売上高	219	274	493	280	280	560	270	290	560
営業利益	18.5	32.0	50.5	37.0	30.0	67.0	29.5	37.5	67.0
R O S	8.4%	11.7%	10.3%	13.2%	10.7%	12.0%	10.9%	12.9%	12.0%
経常利益	17.5	31.3	48.8	35.0	30.0	65.0	28.0	37.0	65.0
特別損失	6.1	-	6.1	-	-	-	-	-	-
当期純利益	7.5	22.3	29.8	28.0	23.0	51.0	23.5	27.5	51.0
R O E	-	-	12.8%	-	-	19.1%	-	-	19.1%
配当	-	-	230円	-	-	350円	-	-	350円

SPE

- グローバルニッチトップ対象製品群の進捗好調
SPE売上高85億円の内、GNT56億円（66%）で推移
SPE受注高225億円の内、GNT182億円（81%）で推移
- 枚葉式Siウェーハ洗浄装置、先端パッケージ向けボンダが引き続き好調
- 1Qでは、欧米・東南アジア、中国向けの受注が増加

* GNT：現中期経営計画
グローバルニッチトップ
対象製品群

FPD

- 前工程では、設備投資が低水準。利益率は改善。
- 後工程では、車載用に注力継続

生産面

- 部品納期の長期化傾向は継続するも、サプライチェーンとの連携で生産面では順調に推移

Smart Solutions & Services for Your Manufacturing

「Smart」「Solutions」「Services」の3つの「S」で
お客様のものづくりに貢献してまいります。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承願います。

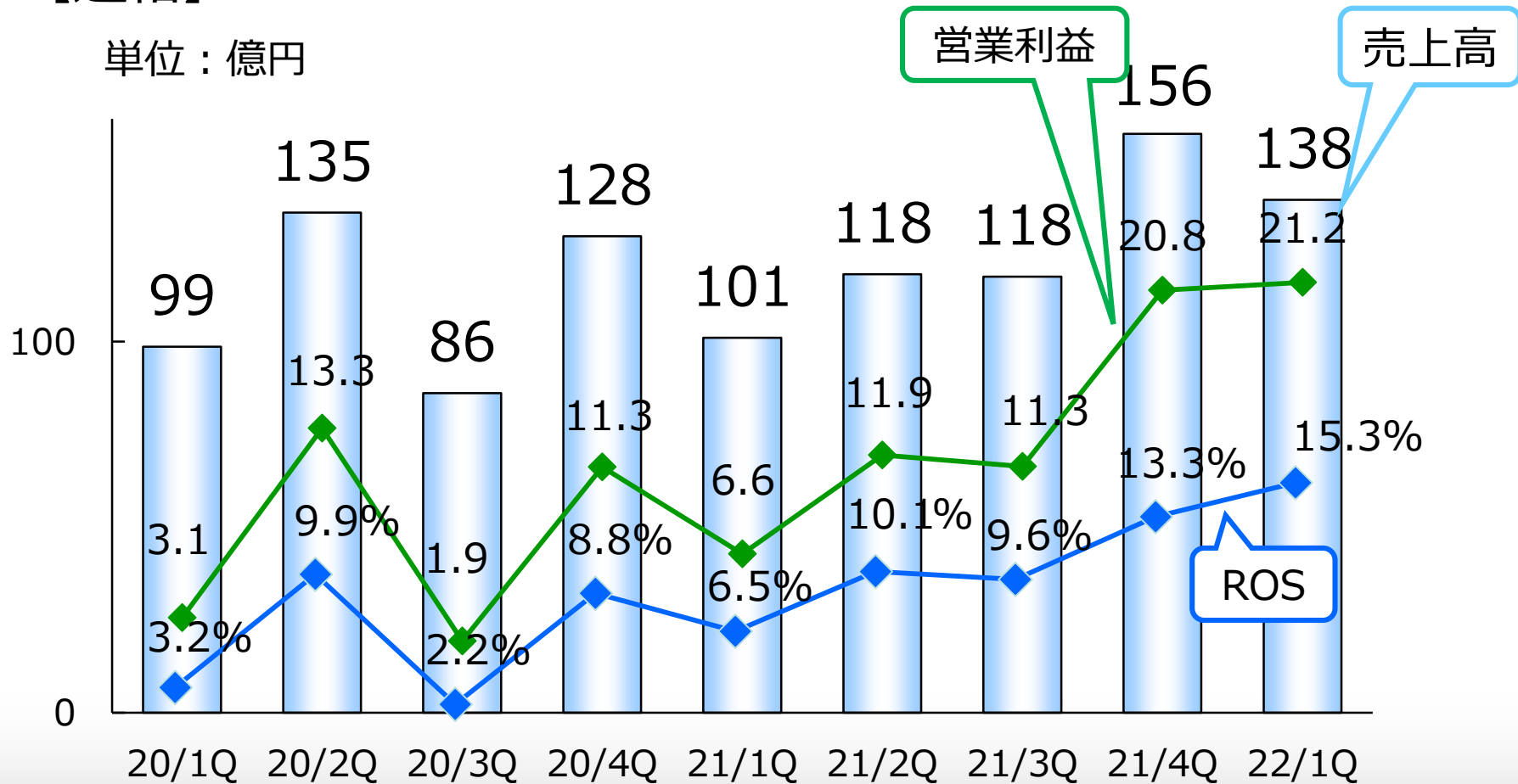
END

Appendix

売上高・利益・ROS

【連結】

単位：億円



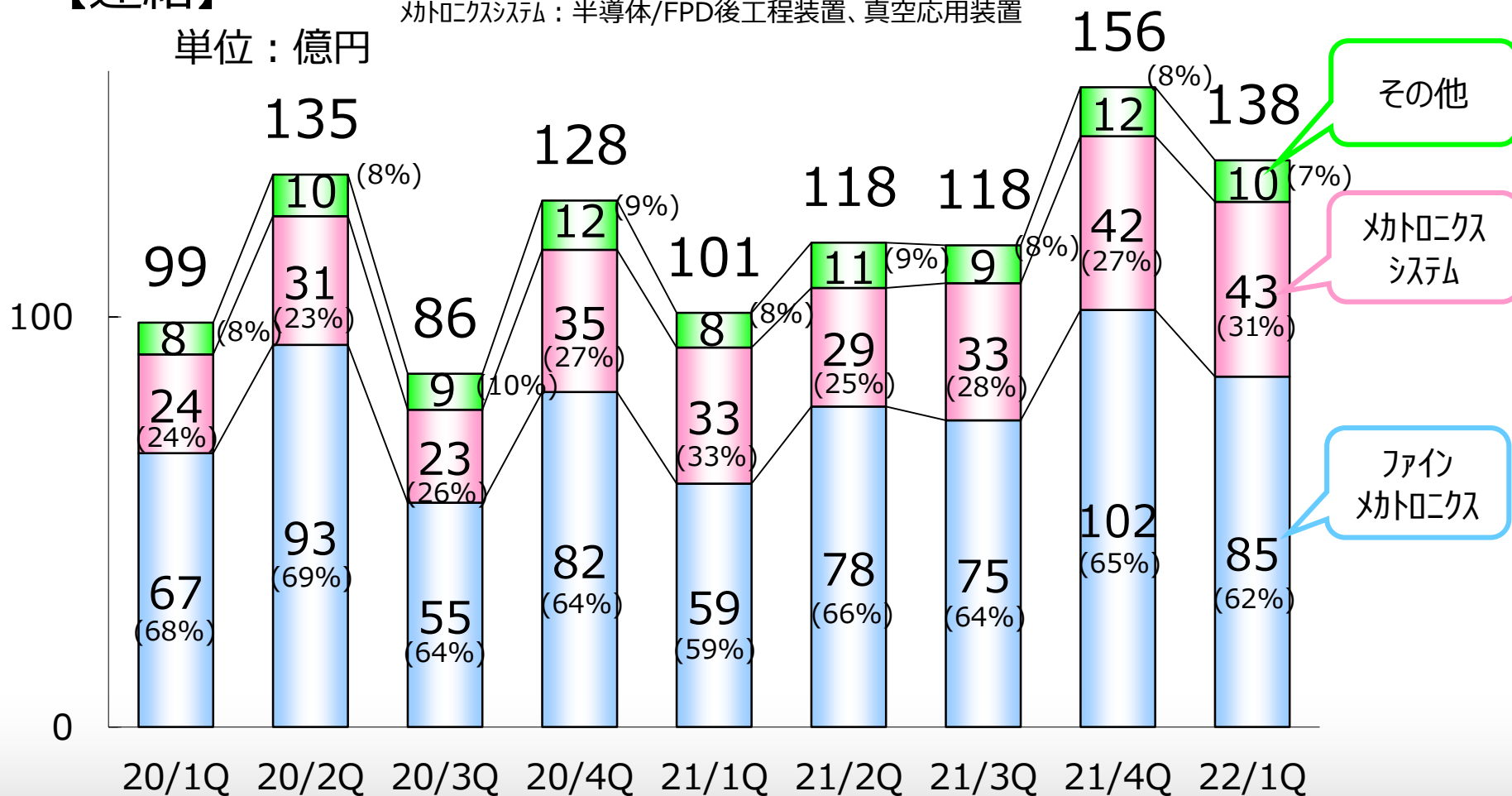
セグメント別売上高

【連結】

* ファインエレクトロニクス：半導体/FPD前工程装置

エレクトロニクスシステム：半導体/FPD後工程装置、真空応用装置

単位：億円



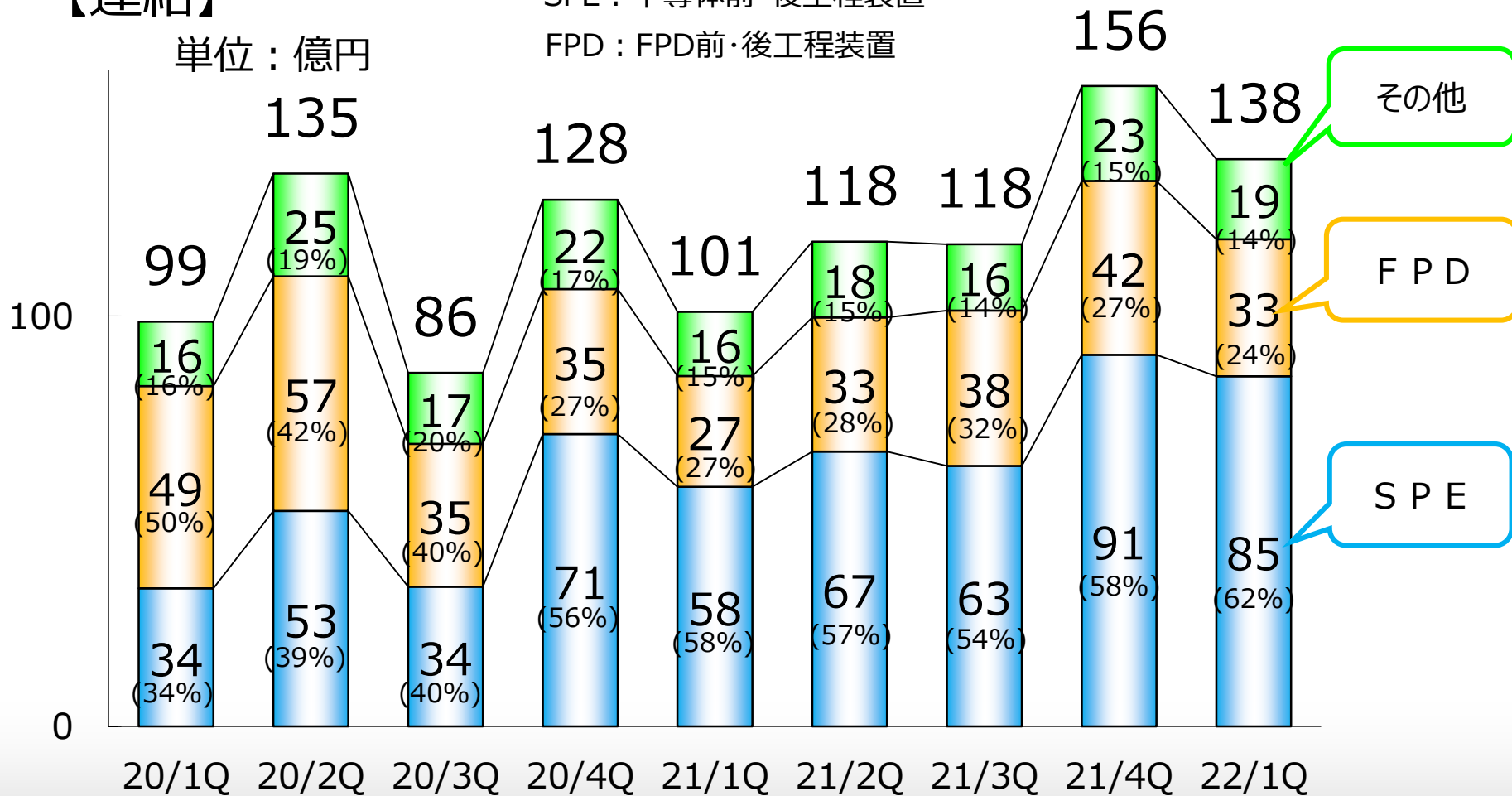
分野別売上高

【連結】

単位：億円

* SPE : 半導体前・後工程装置

FPD : FPD前・後工程装置



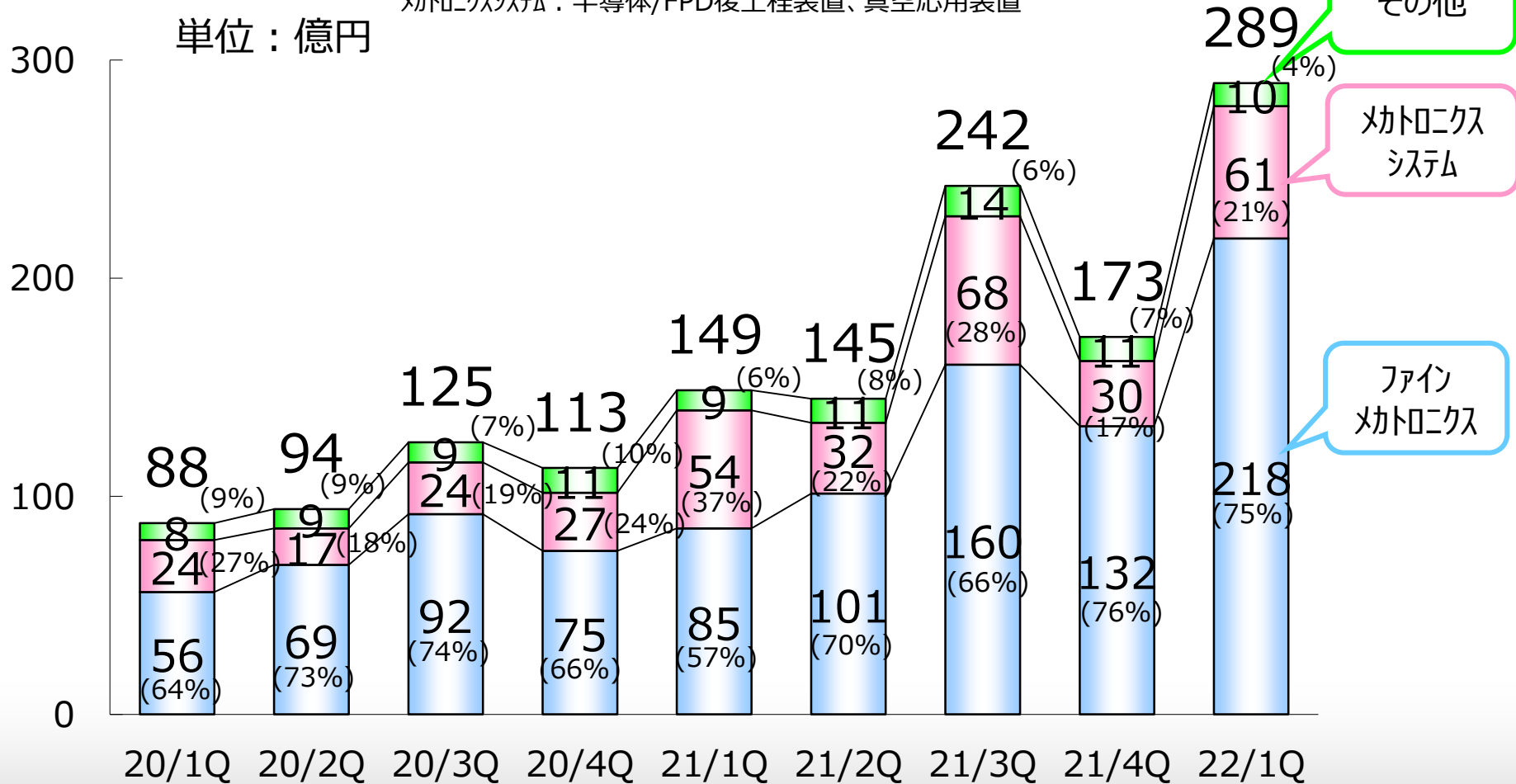
セグメント別受注高

【連結】

単位：億円

* ファインメトロクス：半導体/FPD前工程装置

メトロクスシステム：半導体/FPD後工程装置、真空応用装置



分野別受注高

【連結】

単位：億円

* SPE : 半導体前・後工程装置

FPD : FPD前・後工程装置

